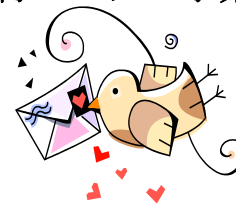


安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★ 今月の事故 ★



1. 事故の概要（就業中）

土曜日の午前11時頃、会員が単独で雨天により滑りやすくなっていたスーパーの店内でカートを回収する作業中、転倒して後頭部を打撲した。お店ですぐに救急車を手配したが会員は乗車を断り、普段通り仕事を続け帰宅した。月曜日、家族が自宅で倒れている会員を発見し救急搬送したが、一週間後、転倒が原因の脳内出血により誤嚥性肺炎を併発して死亡した。

2. 事故の原因

転倒で後頭部を打撲し、すぐに救急車を手配したが、会員自身が乗車を断ってしまい、そのまま就業を続けたことから脳内出血が悪化した。

3. 再発防止策

【センター】

事故速報と注意喚起のチラシ（高齢者は「コッソ！」でも病院へ）を会員に配付し再発防止策の周知徹底を図った。

【連合本部】

事故内容を各センターに通知するとともに、「本人が救急搬送を断っていることで、特に後頭部打撲の場合は脳内出血を疑うものを、そのまま就業して帰宅していること」を重要なポイントとして、「自分の身は自分で守る」という意識を会員自身が持つことが事故の防止に繋がることを周知した。

4. 全シ協から

高齢者の場合、後頭部の打撲は打撲直後に大した症状もない場合も多く、後で脳内出血が進行してしまうことが多く見受けられます。特に会員が単独で就業する場合、後頭部を打撲した時には、痛くないから大丈夫と自分で判断しないで、直ちに就業を中止して病院等で受診してください。また、お店の方に頼むなどしてセンターに、その旨を連絡してもらいましょう。

センターにおいても、緊急事態発生時の連絡体制を整えて会員に周知するようにしてください。連合本部の再発防止策にもあるとおり、会員自身が「自分の身は自分で守る」という意識を持つことが事故の防止に繋がります。

今回の事故は、転倒時に救急車への乗車を断わず、直ちに病院で受診していれば死亡には至らなかったと思われ、悔やまれます。

令和2年5月（令和2年度）事故速報

(1) 重篤事故

5月は、3件の重篤事故報告がありました。

5月までの累計で比較してみると、令和元年度の7件と比して令和2年度は5件と2件減少しています。

また、就業者・就業途上別にみると、就業者では令和元年度の4件と比して5件と1件の増加となっており、就業途上については、令和元年度の3件と比して0件と3件の減少となっています。

5月報告分までの累計

令和元年度累計	就業者・ 就業途上	件数	内 訳				令和元年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業者	5(3)	2(1)	3(2)	5(3)	0(0)	就業者	4	3	1	3	1	
就業途上	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	就業途上	3	3	0	3	0	
計	5(3)	2(1)	3(2)	5(3)	0(0)	計	7	6	1	6	1	

↳ 対前年度比 71.4%

()は、当月（5月）報告分です。

5月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
3	男 74歳	就業者 (死亡)	土曜日の午前11時頃、会員が単独で雨天により滑りやすくなっていたスーパーの店内でカートを回収する作業中、転倒して後頭部を打撲した。お店ですぐに救急車を手配したが会員は乗車を断り、普段通り仕事を続け帰宅した。月曜日、家族が自宅で倒れている会員を発見し救急搬送したが、一週間後、転倒が原因の脳内出血により誤嚥性肺炎を併発して死亡した。	—	—	—
4	男 75歳	就業者 (入院)	檜の木の剪定作業中、約4mから滑落しコンクリートの側溝に転落し頸椎を骨折した。高さ2m位の檜の木であり、脚立は使用せずに枝とブロック塀に足を掛けて作業を行っていた。事故現場は夜中に降った雨で樹木もブロック塀も完全に乾ききっていない状態であり、枝に掛けた足が滑って滑落したものである。入院後6カ月経過したが現在も入院中である。	○	×	—
5	男 71歳	就業者 (入院)	個人宅での不用品の引取り作業が終わり、不用品処分のため廃棄物処分場へ搬入し、荷下ろしが終わり車両の片づけをしていたところ、産業廃棄物処分場の従業員が運転する重機がバックをし、キャタピラーで会員の右足を巻き込んだ。入院後6カ月経過したが、その後退院した。	○	—	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

5月は、就業中の事故10件、就業途上の事故2件と、合計12件であり、昨年度同月の19件と比して7件の減少となっています。また、男女別では、男性は3件の増加となっており、女性は10件の減少となっています。

5月までの累計で比較してみると、昨年度の41件と比して、本年度は23件と18件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は17件で14件の減少となっており、就業途上は6件で4件の減少となっています。男女別では、男性は昨年度と同数となっており、女性は3件の減少となっています。

令和2年度5月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	2(4)	6(10)	2(4)	6(10)	0(0)	0(0)	68	72
	除草作業	2(0)	2(4)	2(0)	2(1)	0(0)	0(3)	71	71
	屋内・屋外清掃作業	2(6)	3(11)	1(2)	1(4)	1(4)	2(7)	81	78
	その他	4(3)	6(6)	4(1)	6(4)	0(2)	0(2)	75	76
	計	10(13)	17(31)	9(7)	15(19)	1(6)	2(12)	74	74
就業途上	交 徒歩	1(2)	1(3)	0(0)	0(1)	1(2)	1(2)	78	78
	通 自転車	1(2)	5(5)	1(0)	5(0)	0(2)	0(5)	72	75
	手 バイク	0(2)	0(2)	0(0)	0(0)	0(2)	0(2)	—	—
	段 自動車	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	—	—
	計	2(6)	6(10)	1(0)	5(1)	1(6)	1(9)	75	75
合 計		12(19)	23(41)	10(7)	20(20)	2(12)	3(21)	74	75

()は令和元年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体障害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

3月は、仕事の型別では、「出荷・受付係事務」、「調理人」「他に分類されないサービスの職業」、「農耕作業員」、「その他の清掃の職業」、「選別作業員」がそれぞれ1件あり、合計6件となっています。男女別の内訳は男性が4件、女性が2件となっています。

今月は令和元年度分の確定月となります。本年度は103件となり、男女別の内訳は、男性が61件、女性が42件となっています。

なお、死亡事故はありませんでした。

令和元年度分（4月～3月）

	仕事の型（小分類）	小分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
			3月	累計	3月	累計	3月	累計	3月	累計
業務 災害	測量技術士	93	0	2	0	2	0	0	-	65
	福祉施設指導専門員	162	0	1	0	0	0	1	-	69
	受付・案内事務員	254	0	1	0	1	0	0	-	71
	出荷・受付係事務員	272	1	3	1	2	0	1	69	72
	小売店販売員	323	0	4	0	1	0	3	-	73
	その他の家庭生活支援の職業	359	0	2	0	1	0	1	-	71
	調理人	391	1	8	0	0	1	8	80	72
	飲食物給仕係	403	0	5	0	1	0	4	-	73
	その他の居住施設・ビル等の 管理の職業	419	0	2	0	2	0	0	-	73
	他に分類されないサービスの 職業	429	1	5	0	0	1	5	68	67
	農耕作業員	461	1	1	1	1	0	0	70	70
	養畜作業員	462	0	1	0	1	0	0	-	72
	自動車組立設備制御・監視員	513	0	1	0	1	0	0	-	65
	めっき工、金属研磨工	534	0	1	0	1	0	0	-	69
	水産物加工工	552	0	1	0	0	0	1	-	71
	弁当・惣菜類製造工	554	0	1	0	1	0	0	-	67
	木製品製材工	561	0	2	0	2	0	0	-	72
	一般機械器具修理工	601	0	1	0	1	0	0	-	75
	バス運転手	661	0	2	0	2	0	0	-	70
	乗用自動車運転手	662	0	1	0	1	0	0	-	66
	内装工	717	0	1	0	1	0	0	-	78
	採鉱員	741	0	1	0	0	0	1	-	70
	陸上荷役・運搬作業員	753	0	1	0	1	0	0	-	66
	倉庫作業員	754	0	1	0	1	0	0	-	76
	配達員	755	0	4	0	4	0	0	-	73
	荷造作業員	756	0	1	0	1	0	0	-	67
	ビル・建物清掃員	761	0	6	0	0	0	6	-	70
	道路・公園清掃員	763	0	1	0	1	0	0	-	74
	ごみ収集・し尿汲取作業員	764	0	3	0	2	0	1	-	70
	産業廃棄物収集作業員	765	0	2	0	2	0	0	-	74
	その他の清掃の職業	769	1	6	1	5	0	1	76	73
	製品包装作業員	771	0	2	0	1	0	1	-	72
	選別作業員	781	1	11	1	8	0	3	70	71
	軽作業員	782	0	12	0	7	0	5	-	72
他に分類されない運搬・清 掃・包装等の職業	789	0	6	0	6	0	0	-	72	
計	-	6	103	4	61	2	42	72	71	

(4) シルバー派遣事業における通勤災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

令和元年度は、通勤の型別では「転倒」が14件、「交通事故（道路）」が9件、「激突され」が1件あり、合計24件となっています。男女別の内訳は男性が10件、女性が14件となっています。

なお、死亡事故は2件ありました。

令和元年度分（4月～3月分）

	事故の型	事故数(件)	男性(件)	女性(件)	平均年齢(歳)
通勤 災害	転倒	14	5	9	75
	交通事故(道路)	9	5	4	71
	激突され	1	0	1	75
	計	24	10	14	73

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害（休業日数4日以上又は死亡）」、「派遣労働会員の通勤災害（休業日数4日以上又は死亡）」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害（業務・通勤ともに）が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

（令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済）

★ 安全リレー ★

北海道における安全就業の取組み

1. 北海道シルバー人材センター連合会の概要（令和2年3月31日現在）

(1) センター数	40 団体（国庫補助 37 団体、国庫補助対象外 3 団体）
(2) 会員数	17,093 人（うち派遣労働登録者数 2,348 人）
(3) 粗入会率	1.1%
(4) 就業実人員	13,720 人（請負・委任 12,740 人、派遣 2,009 人）
(5) 就業率	80.3%（請負・委任 74.5%、派遣 85.6%）
(6) 就業延人員	1,413,446 人日（請負・委任 1209,168 人日、派遣 204,278 人日）
(7) 受注件数	103,507 件（請負・委任 12,084 件、派遣 1,423 件）
(8) 契約金額	6,903,033 千円（請負・委任 5,781,060 千円、派遣 1,121,973 千円）

2. 北海道における過去5年間のシルバー保険適用となった事故件数

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
就業中	60件	57件	51件	54件	52件
就業途上	7件	10件	10件	17件	9件
賠償事故	90件	91件	79件	79件	81件
重篤事故	0件	0件	3件	2件	2件

3 北海道シルバー人材センター連合会における安全就業の取組み

(1) 安全・適正就業推進委員会

道内各センターの会員の安全・適正就業と健康の確保に関する事項を検討し、その対策を推進するため平成13年度に設置しました。

連合会理事4名、道内センター事務局長4名、道シ連事務局長、担当者の計10名により構成されており、毎年度、安全・適正就業推進計画を策定し、北海道における安全・適正就業対策に取り組んでいます。

(2) 安全就業推進員研修会

各センターの安全就業推進員を対象に各センターにおける安全就業対策の緊要性の認識を高めるための研修会を中央労働災害防止協会北海道安全センターへ講師を依頼したり、効果的な安全就業対策に努めているセンターの担当者からの事例発表を実施しています。

研修会では、分科会方式を取り、センター間で意見交換が活発に行えるようにしています。

【講演テーマ】

●平成30年度

「草刈り作業中における石等の飛散防止対策について」

●令和元年

「草刈り・選定作業の安全就業対策について」



(3) 就業時、就業途上時の事故詳細の提供

前年度に道内で発生した事故の詳細を取りまとめ、職種、事故原因、症状等にそれぞれ分類し、グラフ化するなどして各センターへ提供しています。

(4) 安全就業月間の策定

全国の7月の安全就業月間と併せて設定し、各センターと連携・協力して会員の安全就業意識の高揚に努めています。

最後に、北海道においては「安全は全てにおいて最優先する」ということをモットーに各地域において安全就業に努めています。

しかしながら、なかなか事故件数が減少せず、起きてはならない重篤事故もここ数年間発生しているのが現状です。

このことから、センターにおける安全就業対策の強化はもちろんですが、それだけではなく就業している会員一人一人も「安全を最優先課題」として、事故防止は自らの責任であることを改めて深く認識していただくとともに、傷害事故だけではなく、草刈り作業中の飛び石の事故についても、対物であれば保険金で解決できるものがほとんどですが、人身事故となった場合、センターの草刈り業務の受注すら出来なくなる可能性もあることから、賠償事故についても傷害事故と同様にしっかりと取り組んでいくことが重要と考えています。

北海道シルバー人材センター連合様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

安全就業スローガン、令和2年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等が決定されました

安全就業スローガン、令和2年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等表彰団体は、安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員会において以下のとおり決定しましたので、お知らせいたします。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

【安全スローガン】

◎最優秀作品 「いつまでも 働く喜び 無事故から」
日立市シルバー人材センター 伊藤 忠 (会員)

○佳 作 「去年より落ちる体力 増す危険 慣れた仕事も 慎重に」
高崎市シルバー人材センター 大谷 隆司 (会員)

○佳 作 「思い込み 慣れと過信に ひそむ事故」
柳川市シルバー人材センター 古賀 清人 (会員)

【優秀賞】

(2回目の受賞)

◎山形市シルバー人材センター (山形県) ◎館林市シルバー人材センター (群馬県)
◎茅ヶ崎市シルバー人材センター (神奈川県)

(1回目の受賞)

○米沢市シルバー人材センター (山形県) ○海老名市シルバー人材センター (神奈川県)
○松阪市シルバー人材センター (三重県) ○精華町シルバー人材センター (京都府)
○摂津市シルバー人材センター (大阪府)

【優良賞】

○旭川市シルバー人材センター (北海道) ○登米市シルバー人材センター (宮城県)
○酒田市シルバー人材センター (山形県) ○郡山市シルバー人材センター (福島県)
○吉川市シルバー人材センター (埼玉県) ○白山市シルバー人材センター (石川県)
○内灘町シルバー人材センター (石川県) ○大野市シルバー人材センター (福井県)
○北アルプス広域シルバー人材センター (長野県)
○設楽町シルバー人材センター (愛知県) ○東員町シルバー人材センター (三重県)
○朝来市シルバー人材センター (兵庫県) ○山口市シルバー人材センター (山口県)
○阿南市シルバー人材センター (徳島県) ○志免町シルバー人材センター (福岡県)
○直方市シルバー人材センター (福岡県)

【優良連合賞】

○大阪府シルバー人材センター協議会

★ 安全・適正就業強化月間 ★

- ◎ 国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月は「安全・適正就業強化月間」の月です。
職員、会員の皆さんで組織をあげて、事故の撲滅を図り「安心・安全」のシルバー事業の発展を図りましょう。
- ◎ 安全・適正就業強化月間
令和2年7月1日から令和2年7月31日までとする。
- ◎ 全国統一スローガン
「いつまでも 働く喜び 無事故から」
(令和4年度までの全国共通スローガン)
- ◎ 主な取組み
〔シルバー人材センターで取り組む事項〕
 - 1 安全・適正就業委員会の開催、「安全・適正就業対策基本計画」の策定及び事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
 - 2 重篤事故につながる就業の見直し
 - ① 危険・有害な作業は受注しないこと
 - ② 作業別安全・適正就業基準に掲げる安全保護具の完全着用を徹底を図ること
なお、安全帽・墜落制止用器具（安全帯）等の安全保護具を未着装のまま就業した場合、申し合わせによって事故の有無に拘わらず就業者には就業停止等の措置を講じるなど安全就業の徹底を図ること
 - ③ 健康チェックや健康講話等の実施、健康診断の積極的な奨励などの健康増進策を図ること
 - 3 ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因を分析した対策を講じた事故の防止の徹底
 - 4 損害賠償責任保険事故の防止
 - 5 就業途上における交通事故の防止
 - ① 交通安全に関する講習会の実施及び交通安全対策の徹底
 - ② 事故多発エリアのロードマップ等の作成
 - ③ 徒歩、自転車及びバイクでの事故の防止の徹底
 - 6 安全就業対策の総点検の実施
 - ① 就業前、就業後の安全意識等の徹底
 - ② 機械器具の点検と整備の徹底
 - ③ 安全保護具の点検と整備の徹底

- ④ 巡回パトロールの重点実施
- ⑤ 就業現場の総点検
- ⑥ 交通安全対策の徹底

7 安全就業の研修及び点検

安全就業に係る事例発表を含む研修会、講習会等の実施

8 適正就業ガイドラインに沿った業務運営の実施

- ① 適正就業ガイドラインを活用した研修・周知（平成28年9月13日付け28全シ協発第125号）
- ② 請負又は委任契約の「受注リスト」による点検等について（令和元年10月17日付け事務連絡）
- ③ 契約書等の適正な締結（例 請負契約に沿った適正な用語の使用、警備業務等の業務と解される用語の禁止、総額表示の使用、仕事内容の具体的記載等）
- ④ 会員と発注者の間に指揮命令関係が生じる請負契約又は委任契約について、派遣契約への切り替え若しくは職業紹介の実施による雇用

9 会員からの安全標語の募集、シルバー人材センター・施設・就業現場等への安全標語、垂れ幕、ノボリ等の掲示などによる会員すべての安全意識の徹底

10 会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載

11 会員に対して安全意識啓発及び情報の共有化を図るための資料等の配付など

12 月間中における「安全意識高揚の日」の設定及び安全表彰の実施

[シルバー人材センター連合本部で取り組む事項]

- 1 シルバー人材センターに対する安全就業対策等の指導・助言
- 2 安全大会の実施及び安全表彰の実施
- 3 安全・適正就業に関する研修会、講習会等の実施
- 4 巡回パトロールの実施
- 5 シルバー人材センターの月間行事の実施についての指導・援助

◎ 強化月間における実施と併せて年間計画を策定し、効果的に取り組みましょう

新型コロナウイルス感染症に気を取られ、季節の移ろいも忘れていましたが、我が家ではいつの間にか梅の実が実り、紫陽花の美しい季節となりました。全シ協では毎年、無事故で安全に関する各種取組を積極的に行っているセンター等を表彰しています。今年度は1連合を含む25団体が受賞されました。受賞されたセンター、連合のみなさま、おめでとうございます。これも日頃からセンター、連合が中心となり、会員のみなさま一人ひとりが安全に対して、積極的に取り組んでいただいた賜物だと思います。また、今年度から優秀賞を複数回受賞できるようにしたところ、3つのセンターが2回目の優秀賞を受賞されました。これは本当に素晴らしいことです。受賞を励みにこれからも常に安全を意識し、無事故が継続することを願っています。また、新しい安全就業スローガンも決まりました。シルバー事業にふさわしいとてもいいスローガンだと思います。このスローガンを胸に安全就業に努めていただければと思います。

(松山)

今年度の安全就業スローガン(最優秀作品・佳作)3作品及び連合本部を含む25団体が安全就業団体として決定いたしました。受賞された会員、センター、連合のみなさま、おめでとうございます。安全スローガンのうち最優秀作品は、令和4年度まで全国安全就業スローガンとして使用いたします。また、今月は国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月は「安全・適正就業強化月間」の月です。この数カ月間、コロナ感染症関連するニュースが多いですが、これから夏に向かい暑い日が続くことが予想されますので、「熱中症対策」についてもみなさま気を付けていただきますようお願いいたします。

(笹野)

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

<頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 200円 A4判
(税抜・送料実費)

【改訂の内容】

- 1 現行のB5版/16頁からA4版/20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】